

令和2年度「会津方部出張型政策研究会」実施概要

「会津方部を元気にするための地域公共交通について考える」

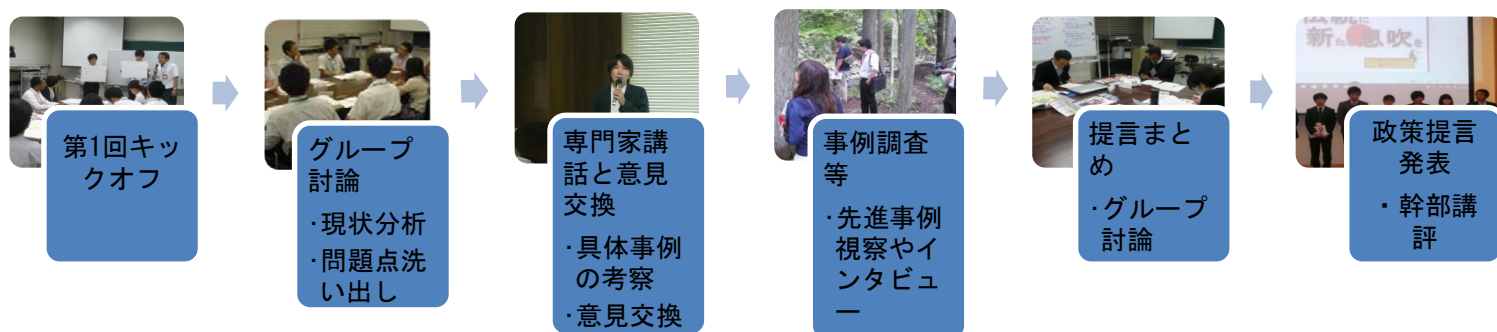


【政策研究会のココに着目！】

- 精鋭講師陣と少人数参加者による密度の濃い学び
- センターから遠くても大丈夫。会津方部での出張開催！
- 政策形成の技術と手法を学び、プロセスも重視する実践的な研究活動
- 自治体の枠を超えた広い視野の形成及び多様なコミュニケーション機会
- 月1回、通常業務を離れてじっくり探究、深まる議論と仲間との絆



【政策提言までの主な流れ】



【テーマ設定の背景と研究成果の期待】

地域公共交通は、地域住民の交通手段の確保にとどまらず、地域における重要な社会基盤であり、その維持については、重要な政策課題として、各地域で様々な取組が行われているところです。しかしながら、依然として地域公共交通を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

また、人口減少、高齢化が進み、2040年には、高齢者人口がピークを迎えると言われています。地域公共交通においても、担い手不足、若年層の利用減少、高齢者の増加に伴うニーズの多様化など、今後ますます課題への対応が迫られる状況となることが予想されます。

地域公共交通における課題は、都市部と地方では大きく異なるため、地域にあった政策が必要となります。

そこで、本研究会では、国土交通省が推進する「MaaS」をはじめとした新たなモビリティサービスの動向について学ぶとともに、全国の事例に学び、会津地域を元気にするための地域公共交通とはどういうものかについて研究し、政策を提言することを目標に活動します。



【政策研究会の参加にあたって】

- 活動は原則として勤務時間内に行います。ただし、現地調査或いは先進地視察等は、視察先の都合等により異なることもあります。
- 研究会への参加費は不要です。ただし、開催場所或いは視察先までの旅費等については、所属団体における公務出張扱いとしてください。
- 当研究会は、テーマに関する業務の担当者にこだわりません。政策研究や当該テーマ等に関心を持ち、主体的に活動する意欲ある職員の参加を期待しています。

知識・理解を深める、現状を把握する

(第1回
～
第2回)

第1回 8月28日(金) キックオフ勉強会、体験WS

開催場所：会津地方振興局管内

あいさつ：会津地方振興局長、センター所長

基調講演：福島大学経済経営学類准教授吉田樹氏

演題：研究生への事前アンケートの結果を踏まえて決定いたします。

ワークショップ

コーディネーター：福島大学経済経営学類准教授吉田樹氏

<内容> ・オープニングガイダンス
・専門家による理論講義、事例紹介

第2回 (9月) 会津地域の地域公共交通の現状と課題分析

開催場所：会津地域のいずれかの市町村（以下、記載のない場合は同じ）

<内容> ・会津の交通事業者及び専門家から公共交通をめぐる現状についてお話を伺う
・グループワーク（現状の把握と課題の洗い出し）

第3回 (10月) 地元住民へのヒアリング

開催場所：奥会津地域等

<内容> ・フィールドワーク
（地域公共交通を通して地域住民が求めるものは何か（仮説の検証））

第4回 (10月) 勉強会

<内容> ・フィールドワークの結果まとめ
・専門家を交えた勉強会
（仮）「会津地域を元気にする地域公共交通とは」
・参考事例の収集、先進地視察先の検討

第5回 (11月) 先進事例、参考事例自治体調査

開催場所：ヒアリング先

<内容> ・先進地視察、参考事例の自治体等よりヒアリング調査

第6回 (12月) 研究員GW

<内容> ・先進事例等結果考察、提言まとめへ向けたGW

第7回 (1月) 研究員GW

<内容> ・提言まとめ

報告会 (2月)

開催場所：会津地方振興局管内

・研究成果の報告会、幹部職員等による講評

調べる
考える
（課題への
取り組み
方向性
検討）
（第3回
～
第5回）

まとめる、提言
する
（提言書
作成）
（第6回
～
第7回）